[認知症対応型共同生活介護用]

評価に結果概要表

作成日 平成20 年6 月5 日

【評価実施概要】

| 事業所番号 | 171200264 | | | |
|-------|------------------------------------|--------------------------------|------------|--|
| 法人名 | 有限会社セカンドライフ | | | |
| 事業所名 | グループホーム北のくにから | | | |
| 所在地 | 〒061 - 1353恵庭市島松本 | 本町4丁目8番25号 (電話)0123-37-2985 | | |
| 評価機関名 | 特定非営利活動法。 | 人 福祉サービス記 | 平価機構 Kネット | |
| 所在地 | 〒060 - 0061札幌市中央区南1条西5丁目7愛生舘ビル601B | | | |
| 訪問調査日 | 平成20年6月4日 | 評価確定日 | 平成20年6月26日 | |

【情報提供票より】(平成20年5月25日事業所記入)

(1)組織概要

| 開設年月日 | 平成 17 年 | ₹ 12 月 1 | 日 | |
|-------|---------|----------|---------|-----------|
| ユニット数 | 2 ユニット | 人 | . 18 | 人 |
| 職員数 | 16 人 | 常勤14人 | 非常勤2人 常 | 常勤換算(1.4) |

(2)建物概要

| 7.4.1/4.1/4.1/4.1/4.1/4.1/4.1/4.1/4.1/4.1 | 木造 造り | |
|---|--------------|--|
| 建物構造 | 2 階建ての1~2階部分 | |

(3)利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

| 家賃 (平均月額) | 48, | 800 | 円 | その他の約 | 圣費(月額) | 水道光熱費 | 13,200円 |
|---------------------|------|------|---|--------------|--------|--------|----------|
| 敷 金 | | 無 | | | | 他冬季暖房聲 | 男 |
| 保証金の有無 (入居一時金含む) | 無 | | | 有りの場 償却の有 | | | 無 |
| 食材料費 | 朝食 | 300 | | 円 | 昼食 | 300 | 円 |
| | 夕食 | 300 | | 円 | おやつ | 0 | 円 |
| | または1 | 日当たり | | | 円 | | |

(4)利用者の概要(5月1日現在)

| 利用者。 | 人数 | 17 名 | 男性 | 4 名 | 女性 | 13 名 |
|------|----|--------|----|-------|----|------|
| 要介護 | 1 | 2名 | | 要介護 2 | 7名 | |
| 要介護 | 3 | 6名 | | 要介護 4 | 1名 | |
| 要介護 | 5 | 1名 | | 要支援 2 | 0名 | |
| 年齢 | 平均 | 80.2 歳 | 最低 | 56 歳 | 最高 | 92 歳 |

(5)協力医療機関

| 協力医療機関名 | 恵みの病院・島松病院 | 完・岡田内科小児科医院、 | 村上歯科診療所 |
|---------|------------|--------------|---------|
|---------|------------|--------------|---------|

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

JR島松駅近く、交通至便。近隣は山林や蔬菜畑など、自然に恵まれた田園風な生活環境にある。ホームの居間は広く、各ユニットに団欒の場を二箇所を設け、自然光に恵まれ、浴室、トイレ、居室は生活、介護の両面で機能的な生活空間となっている。職員は利用者本位で自立支援の方針のサービスに努め、優しく丁寧である。家族に対する配慮もきめ細かく、かつ、地域社会との連携関係を深めつつある。

【重点項目への取組状況】

重

重

前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況(関連項目:外部4)

│ | 今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)

主たる職員の異動があったが、多くの職員の賢明な取り組みによって、 真摯な自己評価を行っている。

|運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6)

運営推進会議の開催も軌道に乗りつつあり、委員の構成の変更・追加などその意義が認識され、地域との連携では、ボランテイアの活用、ホームの開放、相互学習などが問われ、ホーム便りの配布の要請など活発な論議が交わされ、これに取り組もうと努めている。

家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7,8)

| 利用者や家族の要望に徹するためのアンケートを実施、アセスメントに | 活かすとともに、家族との関係を深める契機にしている。また日常の連 | 絡・訪問時での配慮ある対応で課題を受止め、解決に努めている。

日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)

| 運営推進会議ではホーム運営に関わる地域連携について、多面的な課題 | が論議されており、これを積極的に受止めようとしているので、今後の | 運営展開に活かされることを期待したい。

評価結果(詳細)

NPO法人 福祉サービス評価機構 Kネット

| 外部評価 | 自己評価 | 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | 印 (取り組みを期 待したい項目) | 取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む) | |
|------|----------------------|---|---|-------------------------|---|--|
| | . 3 | 理念に基づ〈運営 | | | | |
| 1 | . 理 | 念と共有 | | T | | |
| 1 | 1 | | 社会福祉法・介護保険法の法令に順じた事業所の運営理念を下に、運営運推進会議の意向 | | 地域密着型サービス事業所として、地域の 一員の役割性を[北くに新聞]に紹介してみ | |
| | | ことを支えていくサービスとして、事業 所独自の理念をつくりあげている | (地域住民の一員としての相互扶助性)を汲み取りながら検討を進めている。 | | るなど、独自のご検討を期待したい。 | |
| | | 理念の共有と日々の取り組み | | | | |
| 2 | 2 | 管理者と職員は、理念を共有し、理念 の実践に向けて日々取り組んでいる | 職員は事業の理念に基づく使命を明確に理解 し、その実践に努力している。 | | | |
| 2 | . 地 | は域との支えあい | | | | |
| | | 地域とのつきあい | 町内会、民生委員などとの連携で、散歩時の | | | |
| 3 | 5 | 事業所は孤立することなく地域の一員 として、自治会、老人会、行事等、地域 | お付き合いや、近隣の行事(夏祭り・公民館 文化祭など)の参加交流、一方、介護方法や 健康管理の方法などの相談を受けている。 | | | |
| 3 | 3.理念を実践するための制度の理解と活用 | | | | | |
| 4 | 7 | 運営者、管理者、職員は、自己評価及 | 評価にあたっては施設長から評価法の再確認をするとともに、前回の評価をふまえて、 日々の業務について見直しをしながら評価を 進めている。 | | | |

| 外部評価 | 自己評価 | 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | 印 (取り組みを期 待したい項目) | 取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む) |
|------|------|---|--|-------------------------|--|
| 5 | 8 | | 定例的に運営推進会議を開催してきた成果が 実りつつある。2月の会議録では課題が多様 に論議されている。今後の対応に期待した い。 | | |
| 6 | | 市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会 議以外にも行き来する機会をつくり、市 町村とともにサービスの質の向上に取り 組んでいる | 地域包括ケア会議ケアマネジャー会議では利用者相談や入居状況・事業所の運営状況など、きめ細かな協議検討を行っている。サービスの質的検討の機会にもなっている。 | | |
| 4 | . 理 | 念を実践するための体制 | | | |
| 7 | 14 | 事業所での利用者の暮らしぶりや健康 状態、金銭管理、職員の異動等につい | 隔月の「北くにからの便り」の発行、日々の 生活の様子、健康、受診状況、職員の異動な どを報告。緊急の受診は電話などで連絡報 告。金銭関係は領収書の写しを添付して連 絡、面会時には気づいた点や要望を聞くよう 努めている。 | | |
| 8 | 15 | 運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や 職員ならびに外部者へ表せる機会を設 け、それらを運営に反映させている | 面会時には面会簿に意見要望を聞く欄を設けている。要望などのほかアンケートを実施して、利用者の介護に役立つ生活内容の記録収集に努めている。 | | |
| 9 | | 職員による支援を受けられるように、異 | 職員の異動には利用者の馴染みある介護上の配慮から、十分な留意を払っている。しかし、避けられない事情もあり、異動を家族に報告するなど、困難解消に努めて対応している。 | | 職員の異動の課題は最も困難な問題であり、新入職員の受け入れなども含め、家族・利用者の対応について、さらなる配慮のもとに、サービスの向上を図られるよう期待したい。 |

| 外部評価 | 自己評価 | 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | 印 (取り組みを期 待したい項目) | 取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む) | |
|------|--------------------------|--|---|-------------------------|----------------------------------|--|
| 5 | 人. | 、材の育成と支援 | | | | |
| 10 | 19 | 職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じ て育成するための計画をたて、法人内外 の研修を受ける機会の確保や、働きなが らトレーニングしていくことを進めてい る | 経営者の積極的な職員研修に対する運営姿勢があり、職員の実践者研修、管理者研修、希望する研修などに優れた研修環境を提供している。 | | | |
| 11 | 20 | 者と交流する機会を持ち、ネットワーク | 市内のグループホームネットワーク会がある。月1回の会合があり、参加し協議を重ねて、職員の資質向上や運営に活かしている。 | | | |
| | _ | そ心と信頼に向けた関係づくりと支援 目談から利用に至るまでの関係づくりとそのタ | +r c | | | |
| | 26 | 馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気に徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している | 相談の時点から契約の過程で十分な話合いを 重ね、無理強いしない姿勢で、家族・本人の 事情を確かめながら、ホームに馴染む条件を 双方が見出せるような対応を進めている。 | | | |
| 2 | 2.新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援 | | | | | |
| 13 | 27 | 職員は、本人を介護される一方の立場 | 新たな受止めにあたっては、常に、利用者の 立場に立って、家族関係者の協力を得て、そ の生活歴などをふまえて、個人の喜びや悲し みを共にすることの出来る関係を保つよう努 めている。 | | | |

| 外部評価 | 自己評価 | 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | 印 (取り組みを期 待したい項目) | 取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む) | |
|------|------------------|--|---|-------------------------|----------------------------------|--|
| | | その人らしい暮らしを続けるためのケアマ | ! ネジメント | | | |
| 1 | . – | -人ひとりの把握 | | | | |
| | | 思いや意向の把握 | 利用者が何を求め、何をしたいか、これまで | | | |
| 14 | | 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、 意向の把握に努めている。困難な場合 は、本人本位に検討している | の情報や心身の状況(生活パターンなど)を確かめて、只今の最良な対応が出来るよう努めている。 | | | |
| 2 | . 本 | 人がより良〈暮らし続けるための介護計画の | D作成と見直し | | | |
| | | チームでつくる利用者本位の介護計画 | | | | |
| 15 | 36 | 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイディアを反映した介護計画を作成している | 家族・特に、職員の日常の情報をきめ細かに 集め、職員相互の協議の機会を重ねて、定期 的、あるいは心身の変化に応じて介護計画を 作成している。 | | | |
| | | 現状に即した介護計画の見直し | | | | |
| 16 | | 介護計画の期間に応じて見直しを行う とともに、見直し以前に対応できない変 化が生じた場合は、本人、家族、必要な 関係者と話し合い、現状に即した新たな 計画を作成している | 現時点での介護計画の見直しは、主に、介護 支援専門員の役割としているが、現状を知る 職員、時に家族の意向やアイディアを募って 改善に努めようとしている。 | | | |
| 3 | 3.多機能性を活かした柔軟な支援 | | | | | |
| 17 | 39 | 事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々の要望に 応じて、事業所の多機能性を活かした柔 軟な支援をしている | 個人の買い物の対応や家族の面会時の宿泊、 受診時の送迎など、柔軟で多面的な対応に努 めている。 | | | |

| 外部評価 | 自己評価 | 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | 印 (取り組みを期 待したい項目) | 取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む) |
|------|------|--|---|-------------------------|---|
| 4 | . 本 | :人がより良〈暮らし続けるための地域資源と | この協働 | | |
| 18 | 43 | かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している | 常勤の看護師が配置されていることから、職員とともに毎日の健康管理が可能となっている。また医療との24時間連携体制が整って緊急時の対応が出来ている。 | | |
| 19 | | 重度化した場合や終末期のあり方につ | 同意書には医療行為なしでの対応事例を持って実施しており、可能性を確かめながら、医療関係機関の協力の下に、変化に対応できるよう進めている。 | | |
| | | | D支援 | | |
| 1 | . そ | の人らしい暮らしの支援 | | | |
| (| 1)- | -人ひとりの尊重 | | | |
| 20 | 50 | | 利用者の誇りを尊び・秘密保持には職員相互 が注意しながら、連絡ノートや口頭で喚起す るよう努めている。 | | |
| 21 | 52 | 日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するので はなく、一人ひとりのペースを大切に し、その日をどのように過ごしたいか、 希望にそって支援している | 上手に表現や意思の表出が出来ない人の気持 ちを理解するよう側にいて、動作を見つめ、 望みに添えるように努めて支えている。 | | アセスメントの精査に努めているので、今 後のさらなるサービスの向上に期待した い。 |

| | 自己評価 | | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | 印 (取り組みを期 待したい項目) | 取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む) | |
|----|----------------|--|---|-------------------------|--|--|
| (| 2) 7 | その人らしい暮らしを続けるための基本的な生 | 生活の支援 | | | |
| 22 | 54 | ◇東が吹してかれるにある L こ し | 利用者の活動可能性を個々の記録にとどめ、 食事つくりや準備・片付けに至るかかわりを 多くし、皆が楽しく参加できるような食の環 境作りに配慮している。 | | | |
| 23 | 57 | 入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している | 現在、職員の勤務体制や利用者の受診支援等 の都合から午前中に入浴する状況にある。 | | この状況を改善するため、幅広い時間での 入浴対応を検討しており、今後に期待した い。 | |
| (| 3)7 | その人らしい暮らしを続けるための社会的な生 | 生活の支援 | • | | |
| 24 | 59 | 役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせる ように、一人ひとりの生活歴や力を活か した役割、楽しみごと、気晴らしの支援 をしている | それぞれの生活歴・趣味・好みなどの応じられるよう取り組んでいる。お茶の時間、切り 絵、皆で行う腹筋体操など、楽しみを加えた 組み合わせのを工夫している。 | | | |
| 25 | 61 | 日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひ とりのその日の希望にそって、戸外に出 かけられるよう支援している | 散歩や計画されたドライブなど戸外活動を積 極的に取り組んでいる。 | | | |
| (| (4)安心と安全を支える支援 | | | | | |
| 26 | 66 | 鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中 玄関に鍵をかけることの弊害を理解して おり、鍵をかけないケアに取り組んでい る | 職員の認識は見守りに徹しているので、施錠 するような状況にない。 | | | |

| 外部評価 | 自己評価 | 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | 印 (取り組みを期 待したい項目) | 取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む) |
|---------------------------|------|---|--|-------------------------|--|
| | | 災害対策 | | | 運営推進会議では地域との連携について積 |
| 27 | 71 | 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜 を問わず利用者が避難できる方法を身に つけ、日ごろより地域の人々の協力を得 られるよう働きかけている | 運営規定では1年に2回の非常災害に備えた避難救出訓練を行うこと、としているが実施に至らなかった。 | | 極的な発言もあるので、共同で開催を企画 するなど相互理解の方途と考えるので、検討を期待したい。 |
| (5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援 | | | | | |
| | | 栄養摂取や水分確保の支援 | | | |
| 28 | 77 | 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている | 水分量のチェック、栄養管理の個別化など徹底して行っている。関連病院の栄養管理士に相談して管理にあたっている。 | | 関連専門機関とのネットワークのあり方を さらに強化しようとしているので、今後に 期待したい。 |
| 2.その人らしい暮らしを支える生活環境づくり | | | | | |
| (1)居心地のよい環境づくり | | | | | |
| 29 | | 居心地のよい共用空間づくり | 居間を中心に居室・備品の配置、トイレ、浴室が今様まるとの機能的、今間的につくられ | | |
| | | 共用の空間(玄関、廊下、居間、台 | 室が介護する上で機能的・合理的につくられている。温・湿度・日照の管理もよく、好み | | |
| | 81 | 所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者 にとって不快な音や光がないように配慮 | のBGMが流れ、時間帯で照明調整に配慮 し、時にアロマを使用している。名画や各居 | | |
| | | し、生活感や季節感を採り入れて、居心 地よく過ごせるような工夫をしている | 室には絵が飾られ、利用者の作品が展示されるなど居心地のよい空間作りがされている。 | | |
| | | 居心地よく過ごせる居室の配慮 | | | |
| 30 | | 豕族と怕談しなから、使い慎れにものや | 居室は清潔で、個々の生活に馴染みある写真 や家具などが配されて、安心の場を作ってい る。 | | |
| | | 好みのものを活かして、本人が居心地よ く過ごせるような工夫をしている | • | | |

は、重点項目。